

◆社会人になってからの鈴木選手といえばパリオリンピックだと思いますが、振り返っていかがですか。

鈴木・パリオリンピックは大学から目標としてきた、マラソン日本代表として初めて出場させていただいた国際大会になりますが、世界選手権より規模は大きく、そこに出られたことをすごく嬉しく思いますし、支えていただいすべつの方々への感謝の気持ちでいっぱいです。終えてみて6位入賞という結果でした。世界の走りがどんどん高速化していくなかでコースを攻略し、勝負を挑んで実践できたのはすごく大きな経験になりました。

野田…私は合宿中だったのでチームの皆で応援していました。初めてのオリンピックで冷静かつ大胆な走りで衝撃を受けましたし、上り坂で離されるのではなく追いついたところでその凄さがより伝わってきました。チームの皆が先輩から刺激を受けました。

外園…私は現地に応援に入っています。一番キツい上り坂でも声をかけようとしていたところ少し遅れて入ったところが見えた。あの姿は目に焼き付いています。先頭グループに追いつき世界のトップランナーたちとともに目の前を走っていくときは、涙が止まらず、かけようと思っていた言葉も出でなくて、ただ「頑張れ！」と叫んでいたことしか覚えていません。今思うのは、

鈴木先輩と同じ大会で金メダルを獲りたい。そして世界を舞台に戦えるランナーに成長していきたいです。

大東祭実行委員会



since
1924

全學應援團



since
1954



Check! その他、文化・研究系の課外活動(クラブ・サークル)はこちら ➡

中央執行委員会

大東文化大学の全学生組織を統括し、学生自治会の最高議決組織、並びに学生組織の最高執行組織です。学生と大学の仲介役であり、公認サークルの統括、学内イベントの企画・運営など、学校全体の活性化を目指しています。今期の目標は、「責務の遂行と希望の付託」です。組織の職責を全うすると共に、組織の課題を可能な限り解決し、次世代の自由度を高め、可能性を切り拓く所存です。我々の代はコロナ禍最後の世代です。パンデミックで自粛していた学生イベントを盛り上げるため、自分たちで企画を考え、行動し、大東文化大学を盛り上げたい、在校生の学生生活を豊かにしていくために精進していきます。



学生自治会組織

放送協会(DHK)

since
1966



DHKは、現在2つの部に分かれており、アナウンス部では发声・滑舌練習、台本読みを通じて演技力や、アナウンス力を高めています。一方技術部では、音響機材の設営や操作を練習し、裏方としての知識を深めます。式典の司会や音響、ラジオ番組、映像作品の制作のほか、他大学を招いて番組発表会を開催しています。年5回の番組発表会は、制作から運営までの全てが部員主体であるため、大きな成長の場であり、ここで得た経験がアナウンス依頼や機材借用といった、自治会業務に活かされています。今後は、資格取得に力を入れ、レコーディングや編集も対応できるように技術向上を図り、活動の幅を広げていきます。

特集2

歴史ある団体を紹介!

課外活動団体紹介

* 設立年は、団体のものです。

活躍する大東人

- ・作田武俊 さん (2011年卒・中国語学科) 「2024年パリオリンピック」パラテコンドー日本選手団監督派遣
- ・新浜レオン さん (2019年卒・国際関係学科) 「第75回NHK紅白歌合戦」出場
- ・深瀬理香子 さん (2022年修了・スポーツ・健康科学専攻) 「ISU世界シンクロナイズスケーティング選手権」出場・チーム優勝(連覇)
- ・稻川くるみ さん (2022年卒・スポーツ科学科) 「ISUワールドカップ スピードスケート競技会」女子500m出場
- ・ウイリアムソン レミ さん(2022年卒・英語学科) 「ISUワールドカップ スピードスケート競技会」女子5,000m出場
- ・鈴木優花 さん (2022年卒・スポーツ科学科) 「2024年パリオリンピック」出場・マラソン6位入賞
- ・中村拓人 さん (2023年卒・スポーツ科学科) 「FIBAアジアカップ2025 予選Window2」バスケットボール日本代表選出、出場
- ・岩城海翔 さん (2024年卒・国際関係学科) 「2024プレジデントカップ テコンドー大会」出場・男子68kg級優勝

参考元：大東文化大学HP「MEDIA—活躍する大東人」、
大東スポーツHP抜粋期間:2024/4/1~2025/3/31

◆「挑戦者であれ」という言葉を受けて、最後に、お二人から今後の抱負、目標をお願いします。

野田…ユニバーシティゲームズで鈴木先輩と同じように金メダルを獲ること。また駅伝で優勝を勝ち取りたいです。もう一つは、鈴木先輩が持っているマラソンの日本学生記録にチャレンジしたいですね。

外園…私は現地に応援に入っています。一番キツい上り坂でも声をかけようと待っていたところ少し遅れて入ったところが見えました。あの姿は目に焼き付いています。先頭グループに追いつき世界のトップランナーたちとともに目の前を走っていくときは、涙が止まらず、かけようと思っていた言葉も出でなくて、ただ「頑張れ！」と叫んでいたことしか覚えていません。今思うのは、



詳しくはWEBへ

この記事をより詳しくお読みになりたい方は、WEBへ。
下記のQRコードから、ぜひご覧ください。



WEBは
こちら!

美術部

美術部では、六月祭、大東祭、桐美展といった学内の展覧会を中心に、他大学との合同展にも積極的に出展しています。活動は週2回、東松山と板橋の両キャンパスに分かれています。作品制作、合同制作や基礎練習に加え、アクリル画、油絵、墨絵など、幅広い画材に触れられるのも魅力です。より進化した美術部の姿を展覧会や学内イベントで披露することで、新たな試みも計画中です。これまで落ち着いた雰囲気の展示が多かったのですが、今後は時代に合わせた新しい展示の形を追求し、来場者の皆様に楽しんでいただけるような企画を考えています。ぜひ私たちの作品を見に来てください。



注目のクラブ

防災研究同好会「STERA」

私たちは、「大学生の目線から防災を考えよう」という趣旨のもと、2024年に同好会に昇格。「守るを学ぶ」をテーマに、大学のみならず、地域を含めた集団的な防災力の向上を目的に活動しています。毎週定例会を開催し、また地域連携活動として学外団体との連携、防災イベントの参加・運営、防犯パトロールを行っています。2025年度は、大東生の防災力向上と東松山・板橋両キャンパス周辺地域の防災力向上を目標に掲げています。個人の防災意識を高め、防災行動によって自らを守るとともに、学生は地域支援の役割があることを認識し、視野を広げた防災意識と意識向上を目指します。そのため、学内行事への参加、学生向けの防災イベントの拡充、板橋地区小学校の出前授業の規模拡大、東松山・板橋地区の方々との地域連携の強化に取り組みます。



since
2020

毎週定例会を
開催し、防災学習
・共有を実施中

青桐賞とは?

学業や正課外活動などで優れた評価を受け、本学の名誉を高めた個人、団体を表彰する青桐賞。2024年度受賞した団体を紹介します!

大東文化大学e-Sportsサークル

2022年の発足、公認サークルとして登録後は、大学対抗オンライン大会3位、大学日本一を決める大会「VALORANT CAMPUS SUMMIT(以後VCS)」4位などの実績を残しました。今後の目標は、同好会への昇格に向けた継続的な運営と、大学eスポーツシーンにおいて「大東文化大学e-Sports」の名を確立することです。普段は100名を超える部員が個人練習し、月1回全体企画として、サークルで指定したゲームタイトルマッチや、サークル内で大会を実施しています。外部大会前には、スクリム(練習試合)やMAP研究など、本番に向けた練習に励みます。今後は学年やゲーム内ランクの垣根なく、各々の目標に到達できるように交流を活性化させ、「VCS」で優勝を狙います。

今、eスポーツはとても注目されています。成長途中的大学eスポーツシーン全体を盛り上げるために、私たちのサークルを見かけたら、ぜひ応援お願いします。



Check!

その他、文化・研究系の課外活動(クラブ・サークル)はこちる ➔



アカペラ部ハーモニーコリン

旧:ハーモニーコリン



主な活動は、年2回の学内イベントと年5回のライブ活動です。部員はそれぞれのライブに向けてバンドを組み、発表します。冬ライブでは二度にわたる部内オーディションがあり、通過したバンドのみが出演します。外部イベントに参加するバンドも多く、2024年度は初めて部として外部イベントで披露しました。今後も部員が楽しんで歌える場所、大切な仲間たちとの憩いの場であるという思いは変えずに、活動を発展させながら新しい試みにも挑戦する部であり続けられるよう、努力していきます。大東祭や冬ライブは、アカペラに触れたことのない方にも、楽しい時間をお届けすることができるライブです。ぜひご来場ください。



文化系・研究系

映画制作部 旧:映画研究会

これまで「映画研究会」という名称で活動していましたが、映画制作という活動内容を、より明確に打ち出すために「映画制作部」に名称変更しました。

活動内容は、まさに「映画を撮る」ことに尽きます。部員の中には「映画は観るもの」で「作り手」になることなど考えていなかった者も少なくありません。先輩方に一から色々なことを教わり、撮影の難しさや一緒に作品を作る楽しさを感じることで、映画制作の深みにはまり込んでいきます。制作した映画は主に大東祭で上映してきましたが、今後は外部のコンテストへの出展も検討しています。



劇団虚構

since
1972

現在は1年～3年の
各学年70名以上が
所属中



コロナ禍で部員が集まらず、一時部員が1名となり休部寸前となりましたが、現在は30名以上が所属し、活動しています。主な活動は、新入生歓迎会、六月祭、大東祭、冬季外部公演の年4回です。「舞台を創るのは役者だけじゃない、裏方だって演劇部員だ!」と日々公演に向けて活動しています。特に大東祭は1年生が初めて大勢の観客の前に立つ舞台です。本番すべてを発揮できるよう、一致団結して臨みます。課題は3年生が板橋キャンパスへ通学するため、学年を越えた交流を絶やさずに、連携を維持することです。各公演で、準備を円滑に進められるよう舞台制作に携わる部員がそれぞれの役割を全うできるように努めます。劇団虚構は、これからも途絶えることのないよう日々取り組んで参ります。

周年記念トピックス

80th
since 1946

青砥校舎

池袋校舎焼失後、酒井忠正総長邸の一部で授業が行われていたが、戦後に青砥校舎へ移転し、多くの学生が学んだ。

50th
since 1976

大東文化会館開設

大学と地域とのコミュニケーション拠点として開館。写真は、開館当初のもの。2006年にリニューアルし、現在も公開講座やイベントなどが行われている。

40th
since 1986国際関係学部
国際関係学科・国際文化学科開設

“もっとアジアへ、そして世界へ”
アジアミックスやスピーチコンテストは、今でも学部の名物行事として行われている。

20th
since 2006

ピアトリクス・ポター™資料館開館

『ピーターラビットのおはなし™』の誕生秘話とともに、その作者ピアトリクス・ポターの人生を知ることができる貴重な私家版や水彩画などが展示されている。



出版物リスト

参考元: 大東文化大学HP - 活躍と未来への取り組み - パブリシティ出版
抜粋期間: 2024/4/1 ~ 2025/3/31

英語学科 静哲人教授

『【音声ダウンロード付き】音読の教科書——日本語ネイティブが苦手な英語の音とリズムの作り方がいちばんよくわかる』(テイエス企画)

国際関係学科 遠藤元教授(共著書)

『Ethics, Business and Capitalism: Thailand and Indonesia in an Asian Perspective』(ペーパーバック)

看護学科 王麗華教授

『共生社会をめざす地域包括ケア論 基本から実践につながる演習まで』(メヂカルフレンド社)

教育学科 荒井明夫教授

『明治前期の国家と地域教育』(吉川弘文館)

日本文学科 滝口明祥准教授

『伏井二 ハナニアラシノタヘモアルゾ』(ミネルヴァ書房)

日本文学科 中村邦生名誉教授

『変声譚』(水声社)

英米文学科 日野原慶准教授(翻訳)

『サメと救世主』(書肆侃侃房)

国際関係学科 倉島孝行准教授(分担執筆)

『カンボジアは変わったのか「体制移行」の長期観察1993~2023』(出版社めこん)

現代経済学科 山下東子特任教授

『新さかなの経済学——漁業のアボリア——』(日本評論社)

国際文化学科 小泉康一名誉教授

『難民・強制移動研究入門』(明石書店)

社会学科 野嶋剛教授(監修)

『TSMC 世界を動かすヒミツ』(林宏文著) (CCCメディアハウス)

国際関係学科 岡本信広教授

『人々の暮らしぶりから考える 中国経済はどこまで独特か? 一官と民のせめぎ合いで読み解く経済学』(白桃書房)

東洋研究所 鈴木隆教授

『習近平研究 支配体制と指導者の実像』(東京大学出版会)



スポーツ・健康科学部

Faculty of Sports and Health Science



臨床看護学演習(看護学科 母子演習室)



学部創立10周年祝賀パーティー(5号館Mホール)



学部創立10周年記念講演(岡崎朋美オリンピアン)

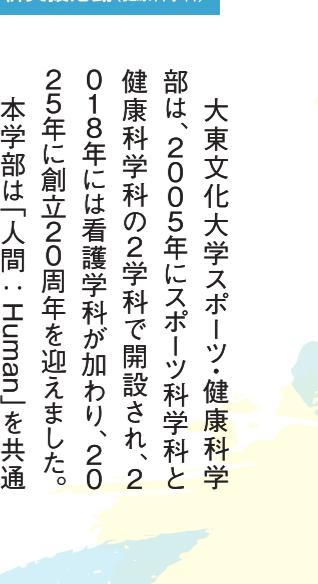


オリンピック(TOKYO2020)大会ドーピング検体分析支援活動(健康科学科)

学部紹介

これまで多くの卒業生が、中学・高校の保健体育教員、公認スポーツ指導者、健康運動指導士、臨床検査技師、健康運動実践指導者、食品衛生管理者、食品衛生監視員、教員、看護師／保健師など、専門性を活かして幅広い分野で活躍しています。現在も東松山キャンパス9号館には最新の実験・実習設備が整い、学びの環境はさらに充実しています。

3学科の専門性と学部横断的な学びを融合しながら、今後も時代の変化に対応した教育と研究を発展させ、卒業生の皆さんにとって、いつまでも誇りとなり、そして気軽に帰つてこられる「ホーム」であり続けたいと願っています。ホームカミングデーなどの機会に、ぜひ母校を訪ねていただければ幸いです。

文学部日本文学科 教授 中井睦美 	文学部書道学科 教授 澤田雅弘 	文学部日本文学科 教授 徳植俊之 
文学部教育学科 教授 高尾謙史 	外国語学部英語学科 教授 上遠野武司 	経済学部現代経済学科 教授 澤田雅弘 
法学部政治学科 教授 荒井明夫 	法学部政治学科 教授 加藤普章 	国際関係学部国際文化学科 教授 静哲人 
令和6年度選択定年教員 高尾謙史 	高尾謙史 	令和6年度選択定年教員 静哲人 

令和6年度定年教員

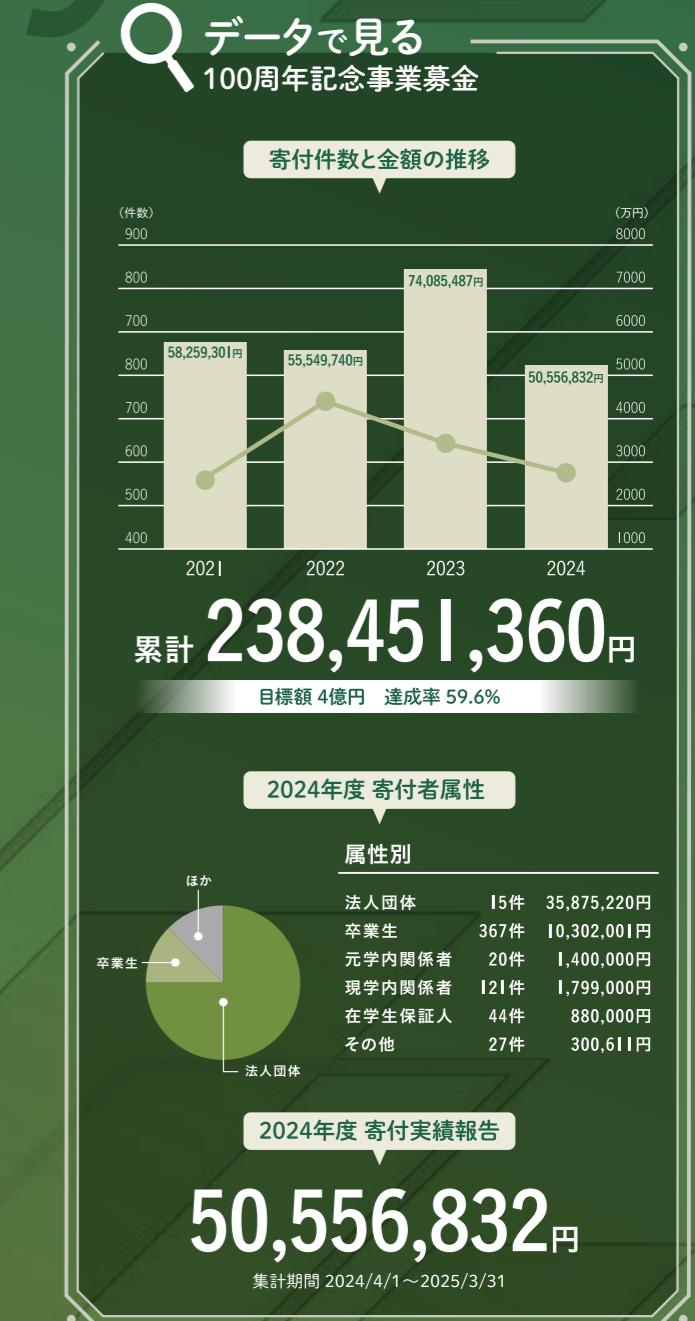


2023年に創立100年を迎えました。
幅広い事業への募金を募っております。
一口1万円未満のご寄付もありがとうございます。



100周年記念事業 募金のご報告

日頃より大東文化大学への温かいご支援を賜り、誠にありがとうございます。2024年度の募金活動の実績と支援のご報告をいたします。今年度も多くの学生の活動やスポーツ活動に活用させていただきました。引き続き、100周年記念事業募金の趣旨にご賛同いただき、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



皆様から頂戴いたしましたご寄付は、下記の通りに活用させていただきました。

4 使途指定 学術・所蔵資料保存支援

漢籍を中心とする貴重書や現代作家の諸作品など本学保有の試算を残し、教育・研究の充実・向上を図っていく予定です。

5 使途指定 陸上競技部(男子長距離・駅伝)支援

練習用品や寮内生活消耗品、大会出場に関わる費用、新入生勧誘宿代等として合計2,670,139円を支援しました。

「本戦で戦えるチーム」を目指す

私たちが充実した活動を続けられるのは、皆様からのご支援あってのことです。いただいた寄付金は合宿所の清掃用具の購入や箱根駅伝出場ポスターの制作に活用させていただきました。

2025年度のチーム目標は、全日本大学駅伝、箱根駅伝とともに予選会3位以内での通過を果たし、「本戦で戦えるチーム」を目指すことです。チームスローガンは『歴史への礎～あの場所でやり返す～』を掲げています。今年1月の箱根駅伝は総合19位で幕を閉じ、各々が悔しい気持ちを抱え世代交代をしました。新4年生が中心となって迎えた全体ミーティングでは「あの悔しさを忘れない」「次の世代に夢を残す」と決意しました。

そのために日頃の行動や練習への意識を改革し、支援者の皆様への感謝の気持ちを心に刻み、良い結果をお伝えできるように選手・スタッフ一同、一丸となって日々精進します。



6 使途指定 ラグビー部支援

全国大学選手権出場に伴う交通費等の補助費、また、トレーニング機器等の練習用品代として合計2,239,594円を支援しました。

体力強化や試合分析が進み、リーグ優勝へと繋がりました

ラグビー部は2024年に創部61周年を迎え、大学選手権優勝(日本一)3回、リーグ戦優勝8回の実績を誇る伝統あるクラブです。2024年度は7年ぶり9回目のリーグ優勝を果たしました。部員90名を擁し、留学生も活躍する国際色豊かで自由奔放なラグビースタイルが特徴です。皆様からの温かい寄付金は、トレーニング用機材や試合運営に必要な資材の購入に役立てました。これにより体力強化や試合分析が進み、リーグ優勝へと繋がりました。また、大学選手権出場に伴う交通費や宿泊費にも使用させていただきました。

寄付者の皆様にはスタッフと部員一同、大きな感謝を抱いています。リーグ戦優勝を決めた瞬間に大集結した学内外の関係者及び全国からのサポーターの皆様と共に喜べたことは、シーズンを通じてのハイライトでした。これもひとえにご支援の賜物です。2025年度もさらなる飛躍を目指しますので、引き続き温かいサポートをよろしくお願ひいたします。



1 使途指定 大学全体への支援

板橋キャンパスWi-Fi設備の増強費用として33,496,760円支援し、この増強により板橋校舎の教室関係殆ど、図書館が網羅できるようになりました。また、板橋校舎1号館地下1F自由ホールリニューアルにて、什器一式の購入費用として17,380,000円支援いたしました。

2 使途指定 学生支援

修学継続支援事業「まなびのサポート」として3,200,000円(16名×各20万円)の支援を行いました。また、学生イベント「2024年クリスマスイリミネーション」ツリー設置撤去費用として369,600円を支援しました。



大東文化大学での学びを続けられることを嬉しく思う

私の家庭は、定年延長による収入減と家族が病気の後遺症で働けなくなったため、家計が急変しました。奨学金も受給していますが、依然として生活は厳しい状況であるため、今回まなびのサポートに申請しました。

現在は卒業研究に取り組んでおり、大東文化大学での学びを続けることを嬉しく思います。経済状況や家庭環境により修学が困難な場合も多いと耳にしますが、新たな学びは金額以上の価値があると強く感じています。今回支援いただいたことにより、その思いがさらに強くしました。多くの人が学びを得られる社会の実現に向け、私も微力ながら貢献していきたいと考えています。



勉強や実習に集中できる環境が整いました

私はひとり親家庭に育ち、大学進学を諦めていましたが、保健体育の教師になる夢を諦めきれず、奨学金制度を活用して大学に通う決意をしました。早朝、深夜に及ぶアルバイトと奨学金で学費と生活費を工面する日々は厳しく、体調を崩す不安もありました。しかし、まなびのサポートを受けることで金銭的に少し余裕が生まれ、勉強や実習に集中できる環境が整いました。金銭面の不安を解消し、教員採用試験に向けて大学の充実した支援を受けながら集中して準備を進められることを、本当に嬉しく思っています。将来は教員として、生徒たちの悩みに真正面から寄り添い、支えられる存在になりたいと考えています。

3 使途指定 海外留学支援

夏期短期留学プログラム支援奨学金として370,000円(6名)の支援を行い、春期短期留学プログラム支援奨学金として780,000円(13名)の支援を行いました。※留学先により支援額が異なります。



かけがえのない経験を積む原動力

この度は、私の留学に際し、温かいご支援を賜り心より感謝申し上げます。皆様のご厚意がかけがえのない経験を積む原動力となり、貴重な学びの機会を得ることができました。

私は英語を学ぶ目的でマルタ共和国に留学しました。初めて海外に行くことは新たな挑戦でした。奨学金は留学のための教材購入、現地での生活費に充てました。留学先では現地の方との会話に苦労しましたが、留学を通じて自力でなんとかコミュニケーションを取ろうとするその姿勢そのものが大事だと気付きました。

この制度は金銭的支援だけでなく、新しい環境での挑戦を後押しし、異文化理解やグローバルな視野の獲得を促してくれました。温かいご支援と励ましに深く感謝し、いただいたご恩を胸に、次のステップへと進んでまいります。



言語は違えど心は通うことを学ぶ良い経験

この度は、留学に際し温かいご支援をいただき、誠にありがとうございました。

オーストラリアでの短期留学において、物価が高い現地での生活費やアクティビティ参加費に充てることができ、本当に助かりました。この支援がなければ、充実した留学生活を送ることはできなかつたと実感しています。

初の海外体験で、英語を学ぶと同時に異文化に触れる貴重な機会となりました。現地ではホストファミリーとのコミュニケーションに苦労し、言葉の壁を痛感しました。しかし、なんとか単語を並べて一生懸命伝えることで、言語は違えど心は通うことを学ぶ良い経験になりました。

ホストファミリーとの交流や現地の人々と過ごした時間が忘れられない、かけがえのない思い出となり、この経験を通じてさらに多くの国を訪れたいと強く思いました。

皆様から頂戴いたしましたご寄付は、下記の通りに活用させていただきました。

8 使途指定 文化系活動支援

各部活動・公式サークルにて、合宿費や活動費として活用を予定しています。

9 使途指定 キャンパス整備支援

東松山キャンパス「就活オンラインブース」設置費用として
1,995,620円を支援しました。



寄付者からの声



エーエフマネジメント株式会社
代表取締役社長
計屋 阜摩様

100周年を迎えた貴学の栄誉に心よりお慶び申し上げます。弊社は歴史ある貴学の建物の設備管理に携わらせて頂いており大変光栄に感じております。貴学の学生様の安全・安心・快適を維持することで弊社も共に成長させて頂きました。貴学は誰もが知る関東を代表する大学であります。文化・スポーツ面でも大変活躍なされ、弊社としても記念すべき100周年に合わせ、益々の発展を祈り寄付金を贈呈させて頂きました。

昨今、社会が大きく変化しております。新しい価値観と守るべき伝統を融合させ調和した社会の創造が求められていると感じております。貴学の建学の精神「新たな文化の創造をめざす」の基、若い学生様が新たな社会を創造し、その一端を担っていくものと確信しております。

貴学の新しい時代の発展と繁栄を心よりお祈り申し上げます。



日本管財株式会社
代表取締役社長
福田 慎太郎様

貴学が創立100周年を迎えたことを心より祝福申し上げます。貴学の建学の精神やスポーツ振興、これから進むべき将来像を見据えた動きに感銘を受けております。私たち日本管財は、埼玉東松山キャンパスの施設・設備のメンテナンス、警備、清掃を総合的に行う総合管理業務を10年携わっております。私たちの仕事の使命は普段通りの日常生活を安心安全に過ごしていただくことを第一としており、学校関係者の方々や学生の皆様が、日常の仕事や勉強を普段通りに行えるように、これからも総合管理業務を安定的に継続してまいりたいと考えております。

なお今回、創立100周年事業に際して、寄付を贈呈させて頂きました。今後の貴学の発展や施設の修繕等に使用して頂ければ幸いです。貴学のさらなる発展と優れた人材育成の場となることを祈念しております。



安永 啓一郎様(故)
安永 ツヤ子様

大東文化大学100年にあたりその歴史の中での四年間の学生生活に思いを馳せた時に感慨深いものがあります。

私は昭和42年東松山校舎開校時に日本文学科に入学いたしました。自然に囲まれた新校舎で目標を持ち活気溢れる学生生活を送りました。学部は経済学部と文学部の二つでした。

夫が大東文化大学100周年の経営者の会にお招きいただき板橋校舎の発展を目の当たりにし、その主旨に賛同し寄付をするに至りました。半年後に夫は他界しましたが、夫の遺志を継ぎ、私もお世話になった大学の今後の発展を願って、寄付をさせていただきました。

学生の皆様にはこんな言葉を贈りたいと思います。「他不是吾」世の中の変化の中で「たった一人しかいない自分をたった1度しかない一生を本気で生きて欲しい」と願っています。

寄付者からのコメント

母校の更なる飛躍を祈念しています!
大東スポーツを応援しています。
学生さんの未来が、いつまでも輝きますように。
強くのびやかに羽ばたいてください。応援しています。
少しでもやりたいことにチャレンジできる助けになれば幸いです。
母校のラグビー、駅伝の活躍を期待しております。

 幅広い事業への募金を募っております。
一口1万円未満のご寄付もありがとうございます。
お受けしております。

7 使途指定 スポーツ系活動支援

男子バスケットボール部が備品購入として505,450円、スケート部が合宿費の補助として244,900円、バドミントン部が備品購入費用として30,000円、合計780,350円を支援しました。

男子バスケットボール部より

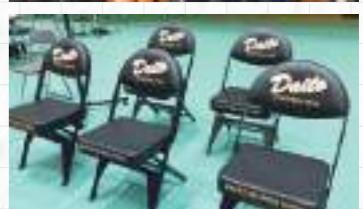
2025年度の目標は『全タイトル制覇・日本一』

この度は男子バスケットボール部の活動にご理解をいただき多大なご寄付を頂戴しましたこと、感謝申し上げます。

男子バスケットボール部は、関東大学バスケットボール連盟1部リーグに所属しており、「日本一」を目指して日々練習に励んでいます。バスケットボールを通じて大学・地域社会への貢献にも力を入れ、ホームゲームや子どもたちを対象としたクリニックなど、繋がりを大切にしています。

東松山キャンパスで開催したホームゲームや練習試合の際に使用する椅子の購入に寄付金を活用しました。株式会社アモサライフのIXPASS折り畳みチェアで大東バスケ部ロゴ入りです。皆様からのご厚意にお応えできるよう、一層バスケットボールの活動に努めてまいります。

2025年度は「全タイトル制覇・日本一」を目標に、部員一同精進して参ります。今後とも男子バスケットボール部へのご声援をよろしくお願ひいたします。



スケート部より

2025年度は男子インカレ3位入賞、女子はインカレ総合優勝を掲げています

スケート部への温かいご支援、誠にありがとうございます。私たちのチームは、一人一人が個々の目標を持ちながら、チーム全体の目標達成に向けて日々練習に励んでいます。監督、コーチ、キャプテンがチームを主導し、競技力と人間力の向上を目指し、力強いチーム作りを進めています。世界大会出場経験を持つ選手や、世界で活躍する選手が在籍しており、より高みを目指しています。合宿や遠征など、長期にわたる活動が多いため、寄付金はその活動費用の一部に活用させていただいている。

2025年度は男子インカレ3位入賞、女子はインカレ総合優勝を掲げています。選手同士で切磋琢磨しながら、世界大会やオリンピック出場を目指しています。今後とも、温かいご支援と応援を賜りますようお願い申し上げます。



バドミントン部より

関東学生バドミントン連盟3部を目指します!

バドミントン部は、現在26名の部員が在籍し、男女とも関東学生バドミントン連盟4部に所属しています。過去には同連盟2部に所属し、全国大学選手権への出場実績もあります。卒業生にはプロリーグに進む選手やバドミントンを通じて社会で活躍するOB・OGが多数います。

2024年度は大東一高の生徒や近隣の小中高生を招き、「クリスマス交流会」を実施しました。トヨタモビリティ東京様との連携により、当日は同社所属のプロリーグで活躍する選手にお越しいただき、実技指導や交流会を通じて、参加者にとって貴重な経験となりました。寄付金はイベント参加者への景品の購入費用として活用させていただきました。

私たちは関東学生バドミントン連盟3部を目指し、さらなる努力を続けるとともに、地域貢献活動にも力を入れ取り組みます。今後とも、応援のほどよろしくお願い申し上げます。



「スポーツ系活動支援」は、支援先として下記の各クラブをご指定いただけます

- 陸上競技部(女子長距離) ●テコンドー部 ●男子バスケットボール部 ●スケート部 ●陸上競技部(短距離) ●弓道部 ●女子バレーボール部
- レスリング部 ●アイスホッケー部 ●女子サッカー部 ●男子バレーボール部 ●硬式野球部 ●相撲部 ●スキー部 ●柔道部 ●ボクシング部
- 女子バスケットボール部 ●ハンドボール部 ●剣道部 ●アメリカンフットボール部 ●水泳部 ●男子サッカー部 ●バドミントン部 ●空手道部
- 合氣道部 ●器械体操部 ●競技ダンス部 ●ゴルフ部 ●ソフトテニス部 ●硬式庭球部 ●トライアスロン部 ●軟式野球部 ●ダンス部
- 男子ラクロス部 ●女子ラクロス部 ●ローバースカウト部 ●卓球部 ●スポーツ大東編集部 ●躰道同好会



ご
ご
ち
申
付
か
み
の
ら
は